

## 12・8不戦の誓いアピール

本日12月8日は、1941年旧日本軍がマレー半島北東岸マラヤのコタバルへの上陸、そしてその約2時間後、ハワイの真珠湾にあるアメリカ軍基地の奇襲攻撃から79年を迎えます。この奇襲攻撃を契機に戦火はアジア・太平洋戦争へと広がっていきました。

日本はこのアジア・太平洋に対する植民地支配と侵略戦争によって、世界の人々に多大な被害をもたらしました。国内でも原爆をはじめ多数の犠牲者を生み出しました。こうした反省から、平和主義、基本的人権の尊重、主権在民を三大原則とする日本国憲法が誕生しました。以降、12月8日は、「不戦の誓い」として全国各地で様々なとりくみが行われています。

安倍政権から菅政権に代わり3カ月が経ちました。菅首相は安倍政権の7年8カ月を内閣官房長官として支え、集団的自衛権行使容認の閣議決定や戦争法・安保法制などの戦争する国づくりや、消費税増税と社会保障の改悪、雇用破壊の働き改革などに関与し、内閣人事局を通じた官僚支配を強めて行政情報の隠蔽、改ざん、破棄と忖度の強要で権威主義の人事政治を進めた共犯者です。

この間の新型コロナウイルス感染症に対する政府の無策を見ても、霞が関には、かつてのような政策立案能力はありません。内閣人事局が、中央省庁の幹部人事を官邸でコントロールする仕組みが出来上がってしまったなかで、国民ではなく、常に官邸を見続けるだけの中央省庁が出来上がってしまいました。安倍政権の最大の問題は「権力を私物化」したことであり、法を順守した政治を否定し、「人による支配」を実行したことなのではないでしょうか。「お友達」には手厚く、自分と考えの違う人間は更迭する、このような状態が7年8か月も続いてきたことに、いまさらながら怒りを覚えます。そして、菅政権もこの権力の私物化を引き継ぎ、日本学術会議会員の任命拒否問題を引き起こしています。さらに、敵基地攻撃能力の保有問題、馬毛島の軍事基地化など、「戦争のできる国」を推し進めています。

私たちは、この安倍政権の「負の遺産」と格闘し、これを引き継いだ菅政権と対峙して、民主主義を立て直すという、大きな課題を背負っています。

私たちは、平和や人権、環境など、民主主義にとって基本ともいえる価値を創造しながら、引き続き、反戦、平和、民主主義の再構築に向けて奮闘していくことをここにアピールします。

2020年12月8日

平和・人権・環境福岡県フォーラム  
戦争への道を許さない福岡県フォーラム